

第3回 情報推進常任委員会会議録

令和元年6月6日(木)

委員会議室

○会議日程

- 1 開会宣告(14時18分)
- 2 協議事項
 - (1) こども議会について
 - (2) 8月20日に札幌市で行われる議会広報研修会の出席者について
- 3 閉会宣告(14時36分)

○出席委員(8名)

委員長	2番	植村	敦
副委員長	5番	岡本	則夫
委員	1番	富樫	直敏
委員	2番	斎賀	弘孝
委員	4番	無量谷	隆
委員	6番	吉原	哲男
委員	7番	西澤	裕之
委員	8番	高橋	秀之

○議会事務局出席者

事務局	長	藤田	秀紀
主事		満保	希来

植村委員長

全員揃いましたので、ただいまから令和元年度の第3回情報推進委員会を開催したいと思います。

まず第1番目に、こども議会についてということで、先の5月14日に行われましたこども議会についての反省会ということで行いたいと思います。

こども議会に関する資料を添付してあります。これを見ながらでもよろしいですし、出席して、当日何か感じたことがあれば、皆さんからそれぞれお聞きしていきたいと思います。

このこども議会も4回目を迎えたということで、リハーサルから始まって、担当の情報推進委員も委員長はじめとして、それぞれ大変ご苦労したということでございますけども、作業的にはだんだん慣れてきたのかなというふうに思っております。

選挙という忙しい日程の中、皆さんにご協力を願って、一般質問のやり方等々、それぞれ学校に出前講座をしたという経緯もあります。結果として私なりに感じたことというのは、非常に今回の生徒の人たち、発表する態度とか発表等に関して素晴らしい真摯な、真剣な態度で、ほかの質問者の意見もきちっとメモを取りながら聞いていたなというふうに思っております。内容に関しても、本当に簡潔にきちっとまとめられていたなという、素晴らしい出来だったなと私なりには思っております。

当然、皆さんそれぞれ意見あると思うんで、何か感じたことがあれば、お話していただきたいと思います。

藤田事務局長

5分ぐらいかけて1回、目を通してもらったほうが良いですね。子どもたちにとったアンケートと当日の一般質問に対するアンケートというか、反省文ですね。情報推進常任委員会のレジュメのほうについてまして、1人ずつ子どもたちがどう感じたかだとか、どう思うだとか、こうだったとかっていうのを全部書いてるんですね。それを1回、皆さん見ていただいて、去年は一般質問に対する答えに対して、この件については、議員視察したほうがいいんじゃないかとか、そういうようなことを常任委員会でやりましたので、子どもたちがどう感じたかっていうのと、一般質問の答えを5分から10分ぐらいかけてご確認いただいた上で、議論していただきたいなと思います。今、見たばかりだと思うので、その方がいいと思います。

(反省・感想用紙の確認 8分間)

植村委員長

それぞれ皆さん、反省・感想の用紙に目を通したと思います。

新しい事案も一般質問であったと思いますけども、これを踏まえて、議会としてもやっぱり現場をしっかりと見て、今後に備えるという、今後のために研究していくということも必要な事案もあるのかなと思いますけども、とりあえず今回のこども議会の感想、講評をお願いしたいと思います。

西澤君のほうからお願いします。

西澤委員

こども議会の感想ということで、先ほど委員長が言われたように、意見もしっかり構築されていたし、聞く姿勢等もしっかりしていて、良かったなと思っております。

また、町長の答弁も教育長の答弁も具体的に、わかりやすく、子どもたちに意見を聞いても、わかりやすかったという意見がありますので、そうだったというふうに思います。

あと、昨年度こども議会で出た案件について視察等もしていますので、今回も視察できる場所は、視察したいなと思っています。あとは時間帯であったりとか、そういう街灯の様子などは、個人的には見て歩きたいなというふうに思っています。

富樫委員

子ども自らからの視線で、日ごろ感じていること、疑問を町にぶつけてきているなという気がしております。また、発表もしっかりしてましたし、町長の答弁もそれなりにしっかりときちんと答弁していたなという気がしておりました。

あと一つ感じたのは、浜頓別の町議会から視察2名の方が来られました。あれはやはり今回の議員研修会でも、こども議会に対する興味が各町村でもあるのかなという気がしています。今回、案内出しているものなんですか。

藤田事務局長

違います。

事務局員会議のときに、局長から議員さん見たいって言うてるから、行くからっていうこととお知らせされて、当日ちらっと始まる前にお話させていただいています。何か説明してねっていうことは特になかったので、ちょっと見たいというお話でした。

富樫委員

あれもなかなかいいことだなと思っておりました。

植村委員長

道新も宗谷新聞もきちっと取り上げて今回は記事してたんで、今まで1回、2回目は全然記事にしなかったんだよね。

無量谷委員

こども議会に参加できずにすいません。

これを読まさせていただきました。そんな中でちらっと見た中で、ふるさとの森の山道ですか、それがかなりぐちゃぐちゃになってるという感じで、なかなか使い辛くなってるのかなと感じはしています。

以前にも議会でも出たと思いますが、そういうのも今後改善を要請していく。ふるさとの森が改善されたんですから、ある程度そういうのも改善するべきかなと。まだ担当者には聞いてないんですけど、選挙中においても、今ブランコが付いてないということと、花の木の中にも別の木が生えているという状態で、環境が整備、統一されていないのかなという感じがしています。

それと幌延町の返礼品にバターが利用されていないって話ですけど、これらも検討する余地があるんじゃないかなと思います。

吉原委員

今回で4回目ですから、子どもたちも先生方もこれに慣れたと。やっぱり子どもたちが言っていることの中には、これはすごくいい経験だったと書かれています。もしこれを、将来この経験活かせればということも言っているんですね。感想文を見ると。随分、何人も良い経験だったと。子どもらしい意見としては、初めて議場に入ったという感想も書いてあったし、そういうことは、議会を子どもたちにわかってもらう。将来、議会に関心を持ってもら

うっていうことは非常に良いことだなと毎回思っております。

齋賀委員

先の委員長からの話があったんですけど、感想用紙ってというのは、幌延中学校が作ったやつなんですか。それとも、こっちの議会で作ったやつなんですか。

植村委員長

幌延中学校が作ってます。

齋賀委員

ちゃんと問寒別も同じような形式で出してもらって、それで初めてこども議会が終わりなんじゃないかなと。

(植村委員長「強制できないんだよな」)

向こうで出したくないって言ったのか。

藤田事務局長

そうではなくて、教育委員会のほうからも町の事業として、学校のカリキュラムに組み入れられてることだから、やってくださいねっていうお願いを今年はしましたということは、教育次長から聞いてたんで、そういうことでできたんだろうなと思って、こちらのほうから連絡したら、今回はやってませんという校長先生お話でしたので、そうですかっていうことで終えています。こちらから学校の事業に対して、これやってくださいっていうのはなかなか難しいです。ただ、教育委員会からはお願いしているようです。

齋賀委員

わかりました。

もう1点は去年も言ったんですけど、学校に行って事前に説明するときに、プロジェクター使ってやった時です。去年も同じこと言ったんだけど、町のやっていることが良いことか悪いことか決めるって説明しましたよね。良いことか悪いことかって言われても、皆良いことやろうと思ってるんだから、そこ何か表現変えた方が良いんじゃないかと思います。。

西澤議員

あれ変えられるんでしたっけ。

齋賀委員

文言はプロジェクターに書いてなかったんですけど、原稿書いてあるんですか。

西澤議員

俺の発言ですか。

齋賀委員

そうそう発言の中で。町やっていることが良いことか悪いことか決めるって、その良い方か悪決めるってそういう言い方は無いんじゃないかと。

藤田事務局長

表現としてはわかりやすいですけど、そういうことで判断するって意味では、わかりやすいんですけど、言葉選びましょうということですね。

高橋委員

吉原議員も言いましたけど、これ良い経験してるなっていう意見が結構あるんです。やってるほうとしても、嬉しいなと思います。これは未来、自分たちのこれからに少しでも役立っていただければいいです。それと今までで4回目っていうことで、今までやったこども議

会で言われたことが現実的に修理されたり改修されてるんで、また、今回も何かを改修してほしいとか、トイレを作り直してほしいとかっていろいろ出てきてるんで、私たちも子どもたちに勉強させられるところがあるので、そういうのをじっくり見ていって、それを町のほうも進めているか進めていないかっていうのを、やっぱり子どもたちに言われてるんだから、最後までチェックしていく義務があるんでないかなっていうのは感じております。それらを見ていきたいなと思ってます。

岡本副委員長

私を感じたことは、昨年度のこども議会も私、読ましていただいたんですね。広報の中でもって。そのときにすばらしいなと。

これを言ったら、おもしろくないかもしれないけど、うちの議員もここまでできたら、すごいというのは、私の議会報読んだときの直感。そして私自身も今回参加してみたら、大変勉強してるなと・自分の町を歩いて、自分の目で確かめて、これだけの文章をつづって発言できるっていうことはすばらしいなと思います。

そして、生徒の反省文の中でもって、こども議会を続けたら、幌延町がもっとよくなるっていう反省文だよな。これ読んでみてショックだよな。議会議員として、自分にとって。これは、俺たちに激励してくれてんだなっていうさ、いい意味でとってね。だから、これは本当だなと思ってるんですよ。こども議会が続ければ、幌延町がもっと良くなるって。そういう形の中で、私自身も一生懸命やりたいなっていうものを感じたね。

ただ、本音でいくと、こども議会が将来に、この子たちが役立つのかなと考えたときに無駄と言ったら怒られるかもわからないけども、そんなことも考えたりしてんだわね。今15歳。10年経った時に、同じ考えを持つような子どもたちが素直に育っていったら、うちは定員オーバーするどころか本当にすごい町になるんじゃないかなって感じがしたね。

だから、大いに勉強させられた。今、私も一般質問の原稿につくっている最中だけでも、中身について相当吟味しなかったらならないなっていう反省をさせてもらいました。

植村委員長

ありがとうございます。

このこども議会で一般質問した子どもたちが、将来幌延に残ったときに、議員もしくは職員を目指して、まちのために働いていただければなという思いも入ってますんで、そのとおりかと思えます。

それぞれ皆さんの反省、感想聞かしてもらいました。当然、今回のこども議会の一般質問で出てきた案件の中でも、個人的にも視察、検証をする場所もあると思いますし、年内にまた町内視察ということもありますんで、その機会にでも、また皆さんで現場に行ってみるということも必要かなと思いますんで、よろしく願いいたします。

特に小学校の外付けのトイレの話も出てましたんで、できれば見せていただきたいなというふうに思ってます。

西澤議員

副委員長が言ったですけれども、1点だけ。

この情報推進委員会を中心に中学校に出かけていって、事前に出前授業し、質問づくりの手助けをしているので、全て学校に任せているわけではなくて、議員の関わりという部分では、3、4回きちんと学校に出向いて関わって、今のこういうことができていっているので、そこ

だけご理解いただければと思います。

植村委員長

このほか、こども議会に関して何かなければ、あとは議会報編集委員会でまとめて、議会報に速やかに掲載していくというふうになると思いますので、どうかよろしく願いいたします。

それでは2番目の8月20日に行われます、議会広報研修の出席者について。これに関しては、任期が2年ずつ分かれてますんで、2名ずつの出席ということになっております。

今回の議会報の編集委員は、斎賀君と無量谷君だったね。

(植村委員長「8月20日は用事あるんですけども」)

(斎賀委員「無理です」)

無量谷、岡本で出席させていただきます。

今日、議会報としての協議事項は2点ですけど、その他として、今後の議会報の編集の日程ですけども、結構作業が溜まってるということもあったり、3月定例会の部分が全く編集されてなかったということもありますんで、選挙の関係あってできなかったということもあります。それで、これからの議会報にそれらをどう扱っていくかということも決めていただきたいと思います。

もうわが町の家計も町民の皆さんに配られたという経過も考えると、議会報にあえて載せるのであれば、2名の一般質問あった部分ぐらいなのかなという気がするんですけども。どうでしょうかね。

(「良いです」の声あり)

それで、こども議会から臨時議会だね。それと研修。こども議会が結構な紙面割くと思うんで、それらを中心にやっていきたいと思います。今回6月の定例会は次の掲載ということになると思いますので、よろしく願いいたします。

岡本副委員長

ちなみに3月の一般質問はどなたとどなたなんですか。

植村委員長

無量谷議員と鷺見議員ということで、無量谷議員はいるんですけど、鷺見議員がいないということで、本人が書いてくれれば1番良いんですけども、そういうことにはならないので、私が書いて、本人の了解をもらって掲載するという形になると思います。

岡本副委員長

一般質問やると本人に書いてもらうの。

植村委員長

そうです。

それでは、そういったことでやっていきたいと思います。日程等々は編集委員のほうに後日連絡しますので、よろしく願いします。

以上をもって、第3回の情報推進委員会を閉じたいと思います。

どうもご苦労様でした。

(14時56分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 植村 敦

以上、記録する。

主 事 満保希来